

ならず、萬無作法ばんむさぽうに候えば、小百姓に

公儀御用の事申し付け候てもあなどり、用い

ざるものに候間、身持もちをよく致いたし、不弁ふべん

仕らざるように常々つねづね心がけ申すべき事

一名主心持ち、我われと中なか悪あしき者ものなりとも、無理むり

なる義を申しかけず、又中よき者なりとも、依怙えこ

最ひん賈ぎなく、小百姓を懇ねんごろにいたし、年貢割わり

★無作法（ぶさほう…礼儀作法を知らないこと、乱暴な振る舞い）

身持（みもち…素行・行状、暮らし向き・財産）

不弁（ふべん…物事が思うように行かないこと、貧しいこと、困窮）

依怙最賈（えこひいき…一方に肩入れすること） 懇（ねんごろ…親切、丁寧）

役等やくどうのわり、少すこも高下こうげなく、ろくに申し渡すべし、

扱あつか又小百姓は、名主・組頭の申し付ける事、違背いはいなく

念を入れ申すべき事

一耕作いこうさくに精せいを入れ、田畑たはたの植様うえよう、同じく拵こしらえように

念をいれ、草くさはえざるように仕るべし、草を

能くとり、節々せつせつ作さくの間へ鋤入くわいれを仕り候えば、作毛

よく出来取実できとりみも多おおくこれあるに付、田畑の

★高下（こうげ…上げ下げ、区別、差別） ろく（陸…水平、平等、まっすぐ）

違背（いはい…命令・規則などに背くこと、違反）

作毛（さくもう・さくげ…農作物のこと、作物の実り、作柄）

取実（とりみ…収穫、実り）